

理科 2 年生 学習計画と評価規準について

領域	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
化学変化と原子・分子	4 月～6 月	化学変化を原子や分子のモデルと結びつけながら、様々な化学変化についての基本的な考えやきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	物質の成り立ちや化学変化について、見通しをもって解決する方法を計画して観察、実験などを行い、原子や分子と結びつけてその結果を分析して結論づけ、化学変化における物質の変化を発見して表現しているなど、科学的に考えている。	物質の成り立ちや化学変化に関する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
生物の体のつくりとはたらき	7 月～9 月	生物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞のつくりの特徴についての基本的な考えやきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物の体のつくりとはたらきについて、見通しをもって解決する方法を計画して観察、実験などを行い、その結果を分析して結論づけ、生物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を発見して表現しているなど、科学的に考えている。	生物の体のつくりとはたらきに関する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
電流とその利用	1 月～3 月	電流や磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と結びつけながら、様々な電氣的現象や磁氣的現象についての基本的な考えやきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	電流や磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を計画して観察、実験などを行い、その結果を分析して結論づけ、規則性や関係性を発見して表現しているなど、科学的に考えている。	電流や磁界に関する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
地球の大気と天気の変化	10 月～12 月	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象や自然災害についての基本的な考えやきまりを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	気象や自然災害について、見通しをもって解決する方法を計画して観察、実験などを行い、その結果を分析して結論づけ、天気の変化についての規則性や関係性を発見して表現しているなど、科学的に考えている。	気象に関する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
具体的な評価の方法		行動観察、発言、発表、パフォーマンステスト、レポート、ワークシート、単元テスト・定期テストなど	発言、発表、レポート、ワークシート、単元テスト・定期テストなど	行動観察、発言、発表、自己評価、レポート、ワークシートなど